

谷戸山 四季だより

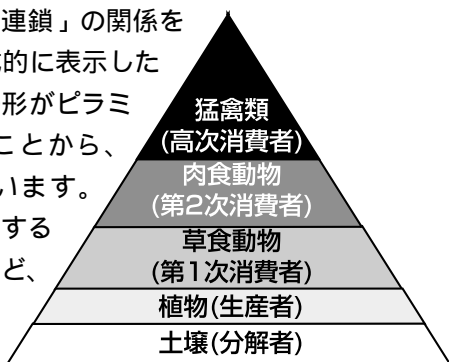
2001年2月号

【問い合わせ先】 県立座間谷戸山公園管理事務所
〒228-0024座間市入谷3-3904
TEL : 046-257-8388 FAX : 046-257-8533

◎生態ピラミッドの頂点に立つ

オオタカ

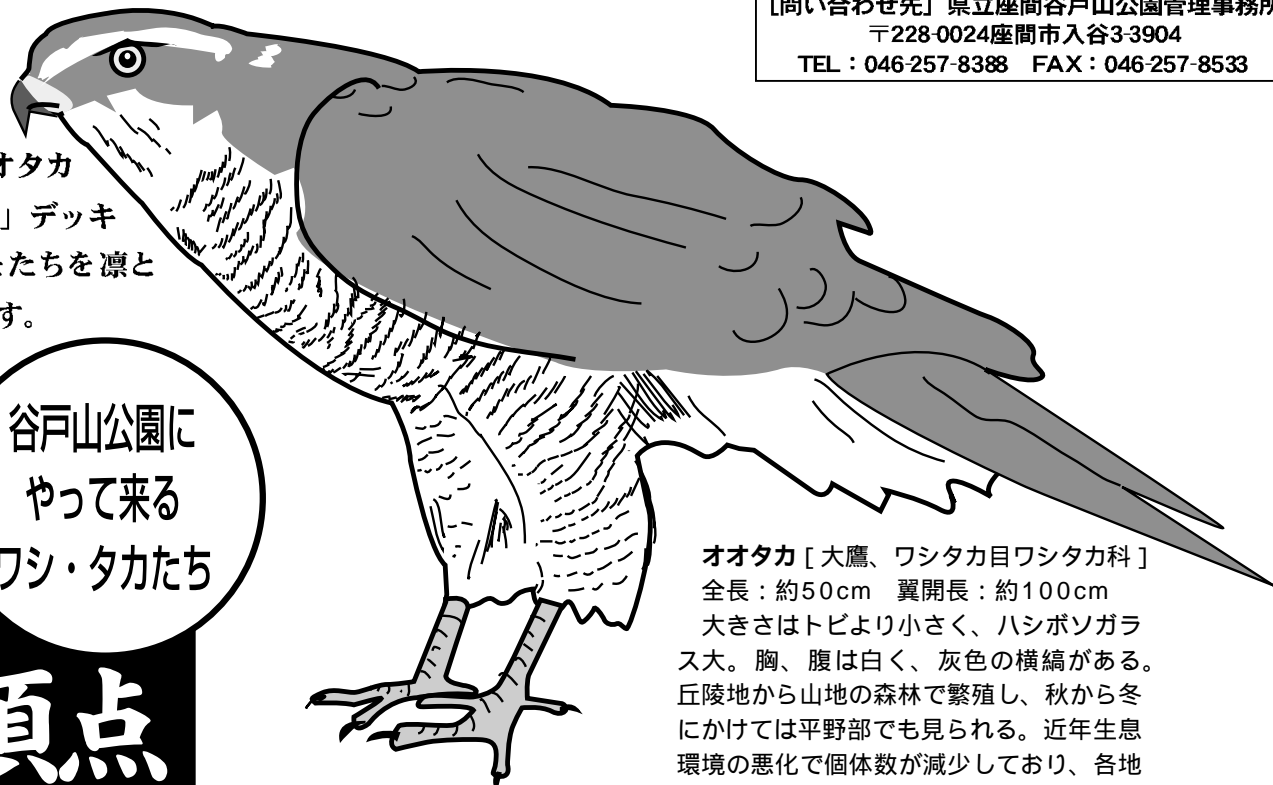
小学校の理科の授業で学ぶ生態ピラミッド(生物ピラミッド)は、生き物同士の「食うか食われるか」の「食物連鎖」の関係を生物の量で模式的に表示したものです。その形がピラミッド状になることから、そう呼ばれています。その頂点に位置するのがオオタカなど、ワシ・タカの猛禽類です。



◎オオタカは絶滅しそうなの?

オオタカは環境省が作成したレッドデータブック(絶滅の恐れのある生物リスト)によると、絶滅危惧Ⅱ類(VU)「絶滅の危険が増大している種」とされています。オオタカは広い縄張り(半径10km以上)をもち、30ha(谷戸山公園とほぼ同じ広さ)以上の森がないと営巣できないと言われています。このようなことからオオタカを含む猛禽類は広い生息地を必要とする生き物なのです。よって、生態系の頂点に位置するオオタカの生存が脅かされれば、やがて我々人間の生存も危なくなります。

谷戸山公園の「水鳥の池」ではこの時期カモたちの姿が見られます。そのカモたちを狙ってワシ・タカの仲間であるオオタカがやって来ます。オオタカは「水鳥の池」デッキから右前方の木立の枝に留まって、カモたちを凜として睨んでいるところがよく観察できます。



谷戸山公園に
やって来る
ワシ・タカたち

谷戸山の生態系の頂点「オオタカ」

オオタカ [大鷹、ワシタカ目ワシタカ科]
全長:約50cm 翼開長:約100cm
大きさはトビより小さく、ハシボソガラス大。胸、腹は白く、灰色の横縞がある。丘陵地から山地の森林で繁殖し、秋から冬にかけては平野部でも見られる。近年生息環境の悪化で個体数が減少しており、各地でオオタカの生息環境を守る運動が広がっている。

◎谷戸山公園で見られるその他のワシ・タカ

◎オオタカはどこから来るの?

谷戸山公園で見られるオオタカは丹沢方面から飛来しているのではないかとされていますが、正確には判りません。将来はボランティアの人達をオオタカの飛来コースを予測して配置し、オオタカがどこから飛んで来るのか調査を実施したいと思います。



トビ [鳶、ワシタカ目、ワシタカ科]
ごく一般に見られるワシ・タカの仲間、「ピーヒョロロ」と鳴き上空を旋回して飛ぶ。他のワシ・タカのように狩りは上手くなく、動物の死体やゴミをあさっていることも多い。



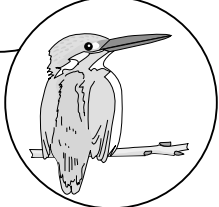
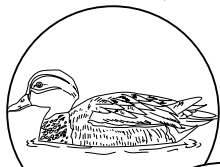
ツミ [雀鷹、ワシタカ目、ワシタカ科]

日本で一番小さなタカの仲間、大きさはヒヨドリ大。林や森の中で小鳥を巧みに追い狩りをする。過去に「昆虫の森」で狩りをしていたのを目撃。林床には獲物のシジュウカラ?の羽根が散乱していた。



◎カモ以外の獲物は?

オオタカはカモ以外にもキジバトやヒヨドリなどの鳥や小動物を捕まえます。2年前の秋には「水鳥の池」でオオタカがカワセミを30分以上も執拗に追いかけている場面に出くわしたことがありました。それは水面すれすれの白熱した攻防戦で、勝負はカワセミが逃げきりました。



チョウゲンボウ [長元坊、ワシタカ目、ハヤブサ科]
小型のタカで、大きさはキジバト大。尾が細長く、翼も幅がせまく先端がとがっている。翼を羽ばたきヘリコプターのように空中に静止(ホバリング)し、獲物(ネズミ等の小動物)に狙いを定めいっきに襲いかかる。



special thanks : 谷戸山野鳥と自然の観察会

参考資料 : 鳥630図鑑 / (財)日本鳥類保護連盟、日本野鳥大鑑 小学館

2月の案内板

「里山保全隊」市民参加ボランティア活動

- ・日時：2月24日(土)
10:00~15:00 雨天中止
- ・集合：県立座間谷戸山公園 里山体験館前
- ・内容：「昆虫の森」のクヌギ・コナラを萌芽更新のため、間伐を行います。
- ・募集対象：里山保全のボランティア活動に興味のある方ならどなたでも。
- ・持ち物：昼食、水筒、タオル、作業の出来る服装。
作業に必要な用具はお貸しします。
- ・申し込み：必要ありません。当日集合場所にお集まりください。
- ・問合せ：谷戸山公園 ログハウス TEL046-257-6388

次回のグリーンタフ 定例自然観察会

- ・日時：2月18日(日)
13:00~15:00 小雨決行、荒天中止
 - ・集合：県立座間谷戸山公園 里山体験館前
 - ・申し込み：必要ありません。当日集合場所にお集まりください。
 - ・問い合わせ：「グリーンタフ」(神奈川県自然観察指導員連絡会)
代表 一杉敏登 TEL.046-238-4355
- 里山体験館では双眼鏡と野鳥の図鑑を貸し出しています。ぜひご利用ください。

県立座間谷戸山公園自然情報 (2001年1月25日現在)

変わった鳥が来ています

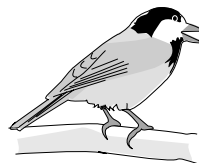
先日谷戸山公園では普段見られない黄緑色をした派手な鳥を目撃しました。その鳥はハト位の大きさとくちばしが曲がり尾が長く、1羽だけではなく、4~5羽の群れで行動していました。図鑑で調べてみると「ワカケホンセイインコ」でした。

ワカケホンセイインコは本来インド南部やスリランカに生息している鳥です。なぜそんな鳥が谷戸山公園にいるのでしょうか？それは「籠脱け(かごぬけ)」といって、飼っていた鳥が逃げて野生化したものです。鳥の仲間ではインコ以外にも、ガビチョウ、ソウシチョウ、ハッカチョウなどが籠脱けで野生化しているのが確認されています。谷戸山公園でもガビチョウ、ソウシチョウが目撃されています。

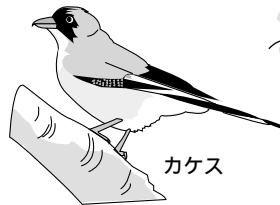
このように本来日本にはいない生き物が定着すると、在来種との間に生存競争がおこり、在来種の生息が脅かされてしまいます。

こんな鳥が見られます

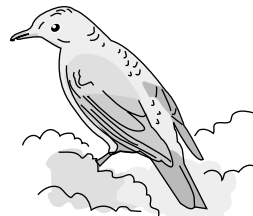
- ・シジュウカラ・エナガ・ヤマガラ・スズメ・メジロ・モズ・ホオジロ
- ・ハクセキレイ・キセキレイ・コジュケイ・キジバト・シロハラ
- ・ハシブトガラス・ヒヨドリ・ムクドリ・オナガ・カケス
- ・ジョウビタキ・カワラヒワ・アオゲラ・コゲラ・アオジ・アオサギ
- ・マガモ・コガモ・ハシビロガモ



ヤマガラ



カケス



シロハラ

お願い

無断転載、コピー大歓迎です。
どんどんお使いください。
みなさんが座間谷戸山公園でとった観察メモやイラスト、大発見したこと、気付いたこと、なんでもOK。管理事務所へ持ってきてください。谷戸山だよりで紹介させていただきます。

